

町田市廃棄物最終処分場閉鎖等委員会 第8回委員会

＜モニタリング計画案＞

説明資料

【目次】

1. 検討内容.....	1
2.モニタリングの基本方針.....	2
3. モニタリング項目	7
4. モニタリング地点.....	8
5. モニタリング計画一覧表（案）.....	9

平成20年11月17日（月） 19：00～21：00

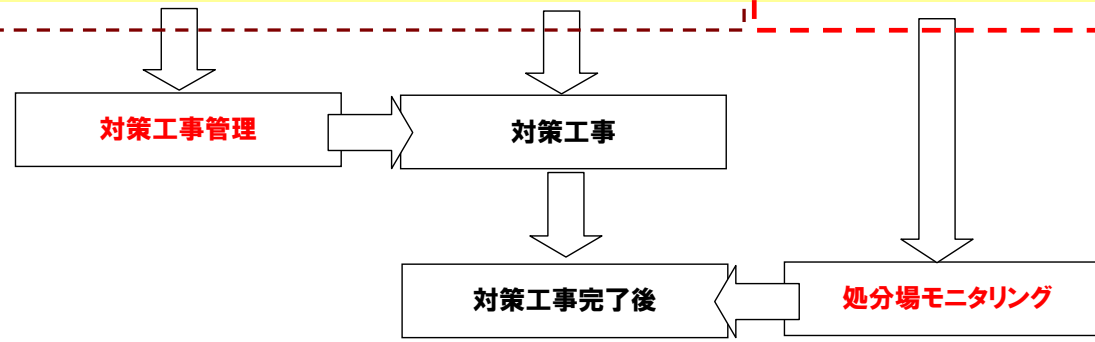
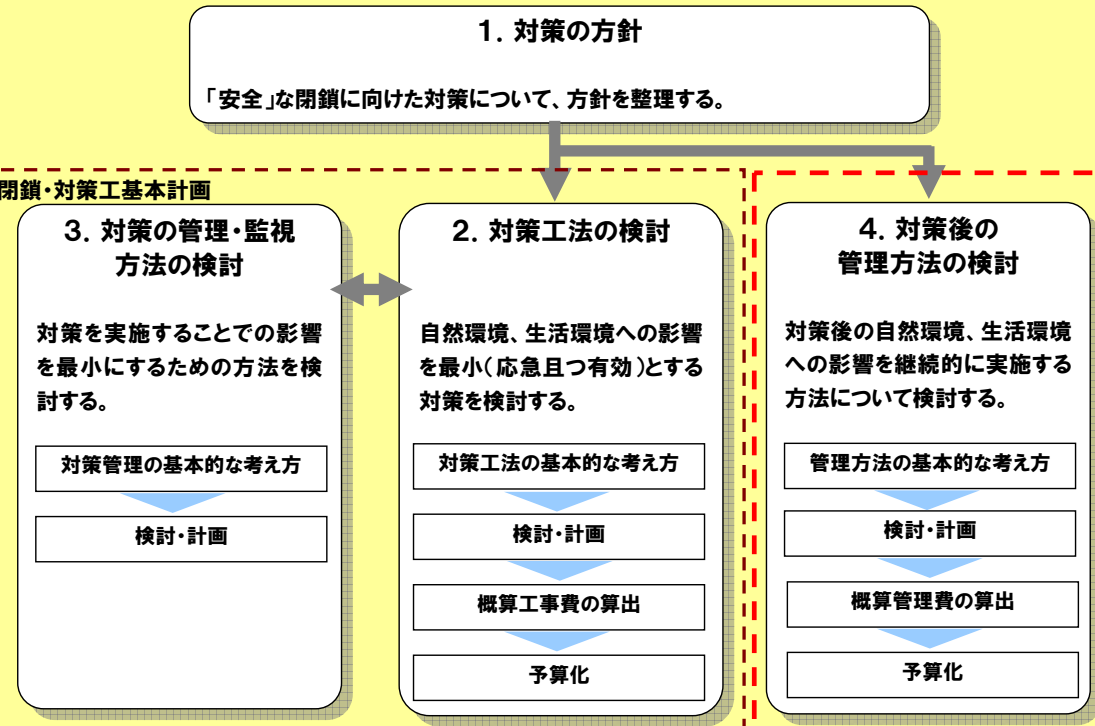
町田リサイクル文化センター

町田市環境資源部環境総務課

1. 検討内容

赤字:今回(第8回作業部会)での検討内容

平成 20 年度に実施する基本計画、モニタリング計画



【処分場としての方向性(平成 19 年度までの検討結果を踏まえ)】

- 浸出水化する水を削減させる。【応急的対策※】
- 処分場における水収支が明らかとなる対策を行う。【原因究明対策】
- 管理や監視体制等を確立する。【長期的安全確保対策】

※現時点では、浸出水の流水ルートが明らかとなっていないが(消去的、各種状況証拠的に推測はできる)、周辺地域への影響拡大等を優先的に配慮し、応急的に対処するものである。なお、今後継続的な監視のもと、対策の効果が認められれば、恒久的対策ともなる。

【対策・対応の考え方】

処分場の外側からの雨水を処分場の中に入れていないようにする。

- 雨水を処分場の中に入れていない ⇒ 覆土
- 雨水を速やかに排水する ⇒ 外周水路

処分場内に降った雨は速やかに雨水として排水する。

- 雨水を速やかに排水する ⇒ 外周水路
- 管理の初期値を明確にする ⇒ 雨水調整池の浚渫
- 安定した管理を行う ⇒ 水路の 3 面コンクリート化

良質な覆土の材料を確保する。

- 適正な管理方法による受入を行う ⇒ 残土受入管理

継続的に管理できる方法などを確立する。

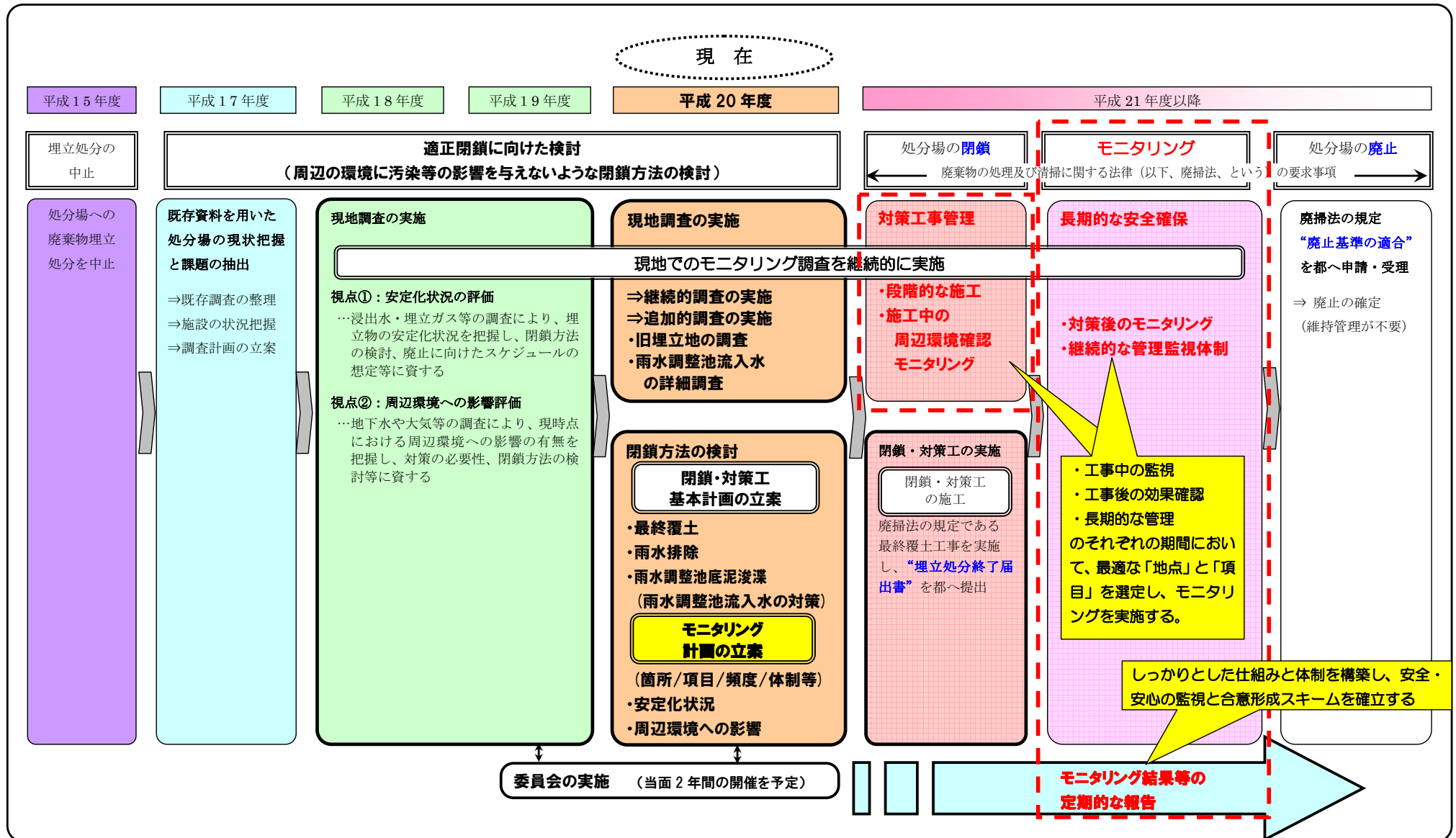
【第8回作業部会での検討内容】

- ・モニタリングの基本方針……………今後の管理方法の基本的な考え方
- ・モニタリング地点……………これまでの調査結果を踏まえて検討
- ・モニタリング項目……………これまでの分析結果を踏まえて検討
- ・今後の管理体制……………現状を踏まえ、処分場周辺の安全・安心と合意形成を確保できる仕組み、継続的に実施可能な体制を構築

※「対策工事のモニタリング」と「対策後の長期的なモニタリング」に分けて検討

2. モニタリングの基本な考え方

処分場周辺の安全・安心と合意形成を確保できる仕組みとして、継続的に実施可能なモニタリング体制を構築



「工事中」・「工事完了後」・「長期」の管理とそれぞれの期間におけるモニタリングの目的と着目点
「工事の効果を経年的な変化のなかで総合的に判断する」

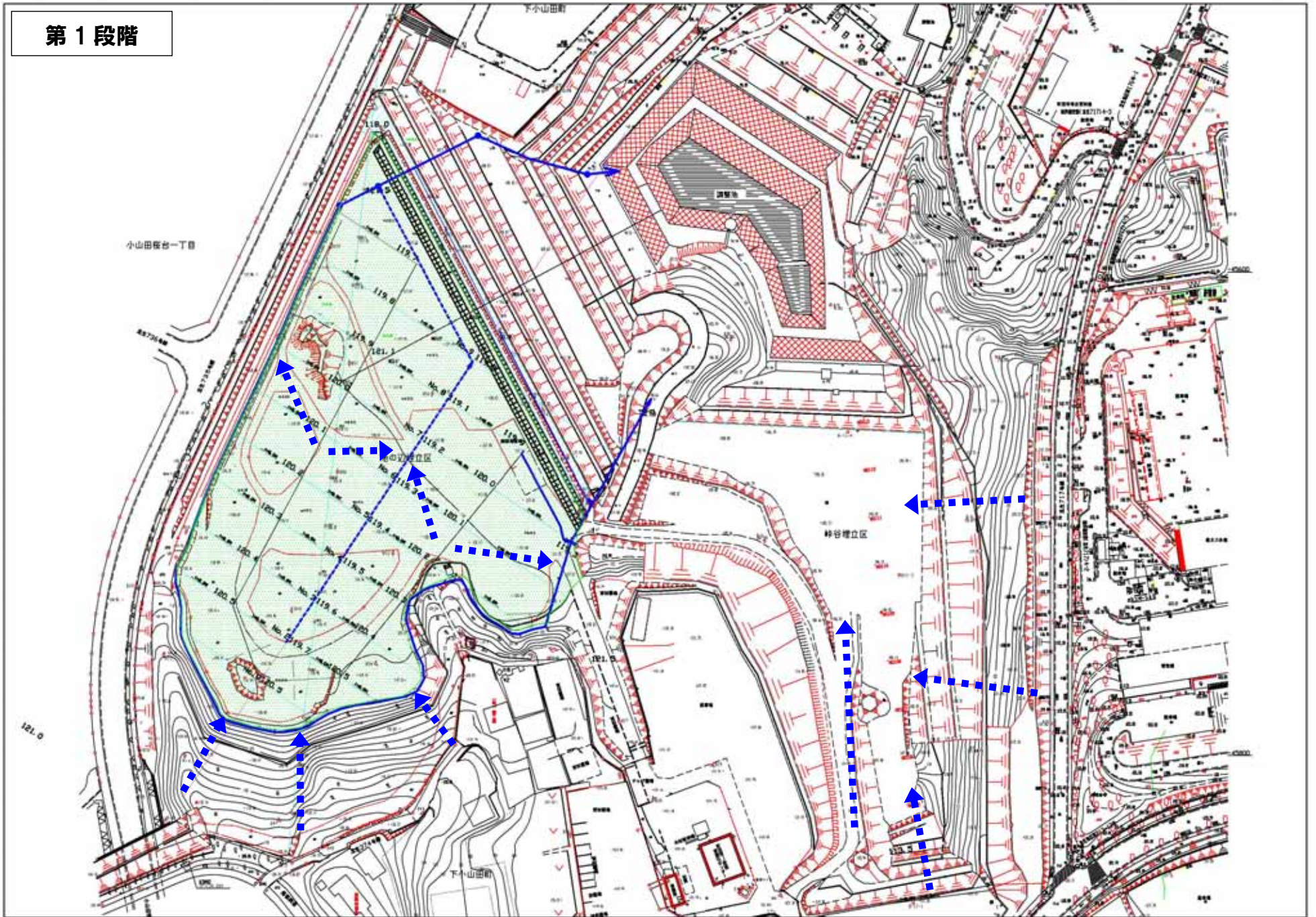
平成21年度

平成22～平成23年度
 (工事完了後2年間程度)

平成24年度以降
 (長期間)

対象	第1段階 (P4 参照)	第2段階 (P5 参照)	第3段階 (P6 参照)
	覆土工事実施	工事完了	
池の辺埋立区	【目的】 工事中のモニタリング 【着目点】 ・覆土の加重が加わることによる周辺地下水への汚染物質の拡散や、ガスの発生はないか ・覆土工事による騒音振動や粉塵、濁水等による周辺環境への影響は生じていないか。 ・構造物に不等沈下などの変状は認められないか	【目的】 対策効果確認のモニタリング ・浸出水量は減少したか ・浸出水の水質に変化は認められたか ・周辺地下水の水質や水位に変化はあったか	長 期 【目的】 安全・安心の確保のための モニタリング 【着目点】 ・周辺環境に影響が生じていないことを確認 ・浸出水の状況を継続的にみていく
	段階的な覆土工事実施 【目的】 「工事中のモニタリング」と「対策効果の検証」を平行して実施 【着目点】 ・覆土の加重が加わることによる周辺地下水に汚染物質が拡散や、ガスの発生はないか ・覆土工事による騒音振動や粉塵、濁水等による周辺環境への影響は生じていないか。 ・覆土の高さは景観上問題ないか。 ・構造物に不等沈下などの変状は認められないか ・旧埋立地に対して問題は生じていないか。 ・浸出水量は減少したか、浸出水や地下水の水質に変化は認められたか	【目的】 対策効果確認の モニタリング 【着目点】 ・浸出水量は減少したか ・浸出水の水質に変化は認められたか ・周辺地下水の水質や水位に変化はあったか	
	浚渫工事実施	工事完了	
峠谷埋立区	【目的】 工事中のモニタリング 【着目点】 ・濁水が下流に流出していないか ・浚渫工事により騒音振動や粉塵、濁水等による周辺環境への影響を生じていないか。	【目的】 対策効果確認のモニタリング 【着目点】 ・浚渫後に堆積した底質に汚染物質は認められないか ・浚渫後に底質の堆積速度はどの程度か	【目的】 安全・安心の確保のための モニタリング 【着目点】 ・周辺環境に影響が生じていないことを確認 ・浸出水の状況を継続的にみていく
雨水調整池	【目的】 工事中のモニタリング 【着目点】 ・濁水が下流に流出していないか ・浚渫工事により騒音振動や粉塵、濁水等による周辺環境への影響を生じていないか。	【目的】 対策効果確認のモニタリング 【着目点】 ・浚渫後に堆積した底質に汚染物質は認められないか ・浚渫後に底質の堆積速度はどの程度か	
全ての地点共通	【目的】 安全・安心の確保のためのモニタリング 【着目点】 ・広域的な周辺の環境に影響が生じていないことを確認		
データ異常時	※ 工事中 → 施工法の見直しや対策工法の検討		※ 工事完了後 → 詳細調査により原因究明を行う

第 1 段階



第2段階

